

ICANNに関するチュートリアル

2015年11月18日(水)

J3 第44回ICANN報告会@Internet Week 2015

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
山崎 信

ICANNとは



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2015 Japan Network Information Center

ドメイン名関連の歴史／ ICANN設立経緯

- **ドメイン名登録の開始(1984)**
- **全米科学財団(NSF)がInterNIC設立(1993年)**
 - インターネット普及により登録数激増
 - ドメイン名登録サービス: 米国のNetwork Solutions社(NSI)に委託
- **NSI社がドメイン名登録を有料化(1995年)**
 - 一民間企業であるNSI社によるレジストリ独占体制に批判が高まる
- **資源管理のあり方についての議論＋米国政府提案**
 - IAHCによる検討(1996-1997)→成果文書gTLD-MoU
 - グリーンペーパー(1998): インターネットの名前およびアドレスの技術的管理を改善する方法について述べた文書
 - ホワイトペーパー(1998): グリーンペーパーへのコメントに対応し、米国政府が再度インターネットの管理体系に関する提案をまとめた文書

ICANN設立

- **Internet Corporation for Assigned Names and Numbers (ICANN)設立(1998年)**
 - 米国商務省との契約に基づき非営利組織として設立
- **ICANNは資源管理の方針策定を実施**
 - 分野別／一般トップレベルドメイン名(gTLD)に関するポリシーの制定、新たなgTLDの承認
 - IPアドレス、AS番号の源泉管理
 - ルートネームサーバの管理、特にルートゾーンファイルの編集管理
 - プロトコルパラメーターの管理

ICANNとは

● 組織形態

- 米国カリフォルニア州法の元に設立された非営利団体
- 三大拠点(ハブ)
 - 米国・ロサンゼルス
 - シンガポール
 - トルコ・イスタンブール

● 使命

1. インターネットの三つの識別子の割り振り・割り当てを全世界的かつ一意に行うシステムの調整
 - a. ドメイン名
 - b. IPアドレスおよび自律システム(AS)番号
 - c. プロトコルポート番号およびパラメーター
2. DNSルートネームサーバー・システムの運用および展開の調整
3. これらの技術的業務に関連するポリシー策定の調整

ICANNの中心的価値(Core Values) (1/2)

1. 運用上の安定性, 信頼性, セキュリティ及びインターネットのグローバルな相互接続性を確保・向上
2. インターネットにより実現された創造性, 革新および情報の流れの尊重
 - ICANNの活動はその使命の範囲内に留め、グローバルな調整によって使命を実現
3. 実現可能かつ適切な限り、影響する関係者の利益を反映、責任を持った別の機関が行う政策機能を尊重、あるいは調整機能の権限を委譲
4. 政策立案及び意思決定の全てのレベルにおいて、インターネットが持つ機能的・地理的・文化的多様性を反映した参画を模索・支持

ICANNの中心的価値(Core Values) (2/2)

5. 市場機構に委ねて持続可能な競争環境を推進
6. ドメイン名登録に競争を導入し推進
7. オープンで透明な政策策定機構を採用
 - i. 専門家の助言に基づいて情報に通じた上での意思決定を推進
 - ii. 最も影響を受ける関係者が政策策定プロセスに関与できるように
8. 誠実で公平、客観的で中立的な政策文書によって意思決定
9. 意思決定プロセスの一部として、最も影響を受ける関係者の情報に通じた上での意見を取り入れつつ、インターネットの要請に敏感に素早く行動
10. ICANNの有効性を高め、インターネットコミュニティに説明責任を果たし続ける
11. 民間セクターに根ざしつつ、政府や公共機関が公共政策に責任を持つことを認識に立ち、それらの勧告を正しく取り入れ

ICANN・インターネット資源関連の主な契約

- **責務に関する約定(Affirmation of Commitments; AoC)**
 - 米国商務省とICANN間の契約
 - 米国政府およびICANNによる主要責務を列挙(ポリシー策定関連):
 - a. DNSの世界的な技術的調整に関する決定は公共の利益において行われ、かつ説明可能であり透明性を持つことの確証
 - b. DNSの安全性、安定性、および耐障害性の保持
 - c. 競争、ユーザーの信頼、およびDNS市場におけるユーザーの選択促進
 - d. DNSの技術的調整における国際的参加の促進
- **IANA契約**
 - IANA機能について米国政府が委託する契約(詳細は「IANAについて」部分で説明)
- **DNSルートゾーン管理に関するベリサインとの協力覚書**
 - 米国政府がベリサイン社にルートDNSゾーンファイルの管理を委託
- **ICANN ASO MoU (ICANNとNRO間で締結)**

ICANN設立後の動向

- **gTLDの追加**

- gTLD数の変遷:

- 2000年以前から存在したもの:7
- 2000年の選定で追加されたもの:7
- 2004年の選定で追加されたもの:8
- 2012年に申請受付を行い追加されたもの(いわゆる新gTLD):786(2015年11月11日現在、最終的には1,300弱程度まで)

- **ICANN改革**

- ICANN設立後、理事18名のうち9名は一般会員(At-Large)による選挙となった
- 2002年に当時のリン事務総長が構造改革を提案
 - その後さまざまな検討がなされ「改革に向けての青写真」採択
 - 青写真を元に同年11月には定款を大幅改定

ICANNの構成

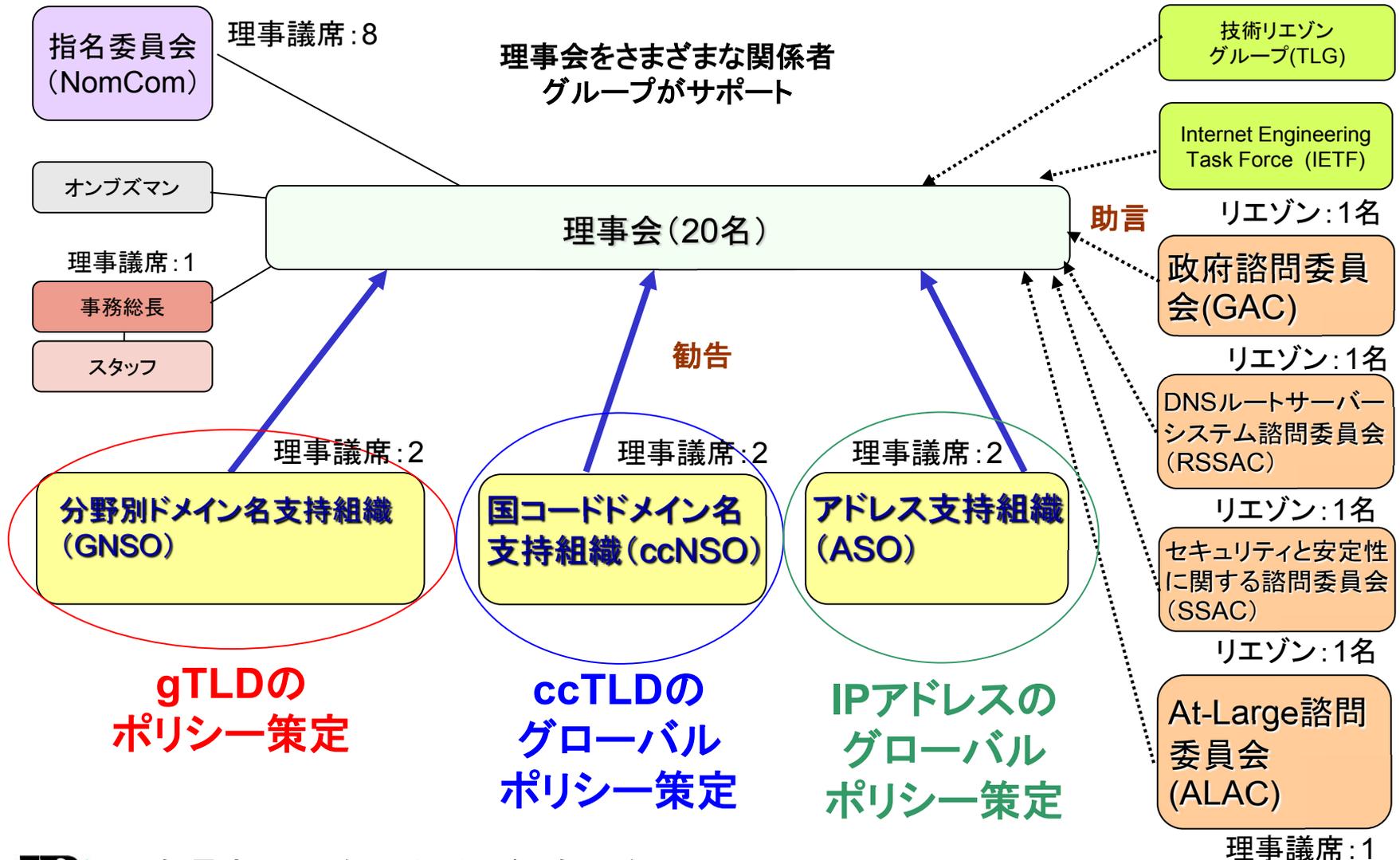


一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2015 Japan Network Information Center

ICANNの組織構造

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/about/organization.html>



理事会

- **理事会の内訳**

- 投票権を持つ理事: 15名
 - 支持組織(GNSO、ccNSO、ASO)より各2名
 - At-Large諮問委員会より1名
 - 指名委員会(Nominating Committee, NomCom)推薦: 8名
- 各諮問委員会からのリエゾン(投票権なし): 4名
- ICANN事務総長(職権、投票権あり): 1名

- **現行の理事一覧**

- <https://www.nic.ad.jp/ja/icann/about/organization.html#3>

- **委員会**

- 監査
- 報酬
- 執行
- 財務
- ガバナンス
- 組織効率性
- 危機管理

支持組織(Supporting Organization, SO)

- **GNSO(分野別／一般ドメイン名支持組織)**
 - gTLDに関するポリシー策定を行い、理事会に提言
- **ccNSO(国コードドメイン名支持組織)**
 - ccTLDに関するグローバルポリシーを策定、およびccNSO内でコンセンサス醸成
 - グローバルポリシーの例: IDN ccTLDの選定・委任プロセス
- **ASO(アドレス支持組織)**
 - インターネットプロトコル(IP)アドレスおよび自律システム(AS)番号(以下「番号」と省略して呼ぶ)の運用、割り当て、および管理に関連するポリシー課題について理事会に勧告

GNSOの構成

- 評議会(council): 部会・SGの代表およびNomCom選出メンバーからなる
- 部会・SGの設立、評議会の議席、選挙などはICANN定款で規定
- **部会・利害関係者グループ(SG)一覧**
 - 契約者会議
 - レジストリステークホルダーグループ(RySG)
 - レジストラステークホルダーグループ(RrSG)
 - 非契約者会議
 - 商用ステークホルダーグループ(CSG)
 - ビジネスユーザー関係者部会(CBUCまたはBC)
 - 知的財産関係者部会(IPC)
 - インターネットサービスプロバイダー関係者部会(ISPCP)
 - 非商用ステークホルダーグループ(NCSG)
 - 非商用ユーザー関係者部会(NCUC)
 - 非営利団体運用関連関係者部会(NPOC)

GNSO評議会

GNSO評議会(Council)

各グループ選出 計18名
 投票権を持つNCA 計2名
 投票権を持たないNCA 1名
 ccNSOとALACからのリエゾン 計2名

契約者会議(Contracted Party House)〈計6名 + 投票権を持つNCA 1名〉

レジストリ利害関係者グループ(Registries Stakeholder Group, RySG)〈3名〉

レジストラ利害関係者グループ(Registrars Stakeholder Group, RrSG)〈3名〉

非契約者会議(Non-Contracted Party House)〈計12名 + 投票権を持つNCA 1名〉

商用利害関係者グループ(Commercial Stakeholder Group, CSG)〈計6名〉

非商用利害関係者グループ(Non-Commercial Stakeholder Group, NCSG)〈6名〉

商用ビジネス利用者部会(Commercial Business Users Constituency, CBUC またはBC)〈2名〉

非商用利用者部会(Non-Commercial Users Constituency, NCUC)

知的財産部会(Intellectual Property Constituency, IPC)〈2名〉

非営利団体運用関連部会(Not-for-Profit Operational Concerns Constituency, NPOC)

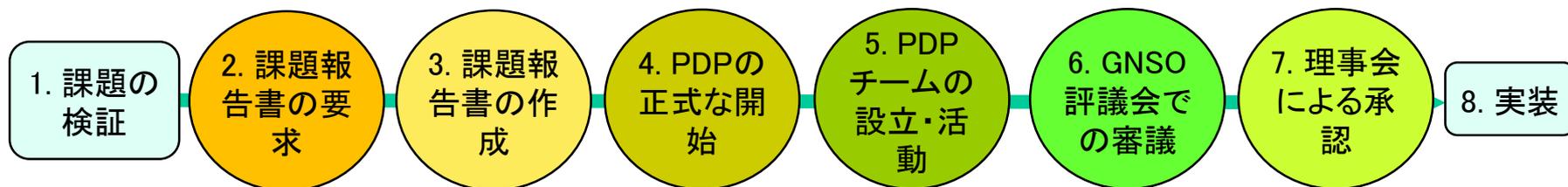
ISP・接続プロバイダー部会(Internet Service Providers and Connectivity Providers Constituency, ISPCP)〈2名〉

NCA (NomCom Appointee): 指名委員会が指名した人

gTLDのポリシー

- gTLD関連ポリシー
 - 新gTLDプログラム
 - AGP (Add Grace Period)制限ポリシー
 - 有効期限切れドメイン名の回復ポリシー
 - 有効期限切れドメイン名の削除に関するポリシー
 - レジストラ間の移転ポリシー
 - レジストラ認定ポリシーステートメント
 - レジストリサービス評価ポリシー
 - 削除後請戻されたドメイン名の正確性に関するポリシー
 - 統一ドメイン名の紛争解決ポリシー(UDRP)
 - Whois 情報の確認に関するポリシー(WDRP)
 - Whois 情報のマーケティング利用禁止に関するポリシー

GNSOのポリシー策定プロセス(PDP)



1. 課題の検証: GNSO/ICANNスタッフが課題の中から検討に値するものを選択
2. GNSO評議会／諮問委員会／理事会がICANNに対して課題報告書 (Issue Report)を要求
3. ICANNスタッフが暫定課題報告書を作成→意見募集→最終課題報告書の作成・発行
4. PDPの正式な開始: 理事会に要求されたもの以外は、評議会の決議が必要
5. PDPチーム(WGなど)の設立と活動:
 - 起草チームがチャーターを策定→GNSO評議会承認
 - PDPチームによる初回報告書の発行→意見募集
 - PDPチームによる最終報告書の発行

gTLDの追加

- **2000年、2004年のgTLD追加**
 - 追加数や募集対象、利用目的などに一定の制限を設けた限定的なもの
- **新gTLDプログラム(2012年に募集)**
 - 誰でも申請でき、従来のようなTLDの利用目的に関する審査ではなく、技術要件など定められた要件を満たしていればよい(準則的に承認)
 - 2011年6月20日にICANN理事会がプログラム実施を承認、第1ラウンドの申請受付が2012年1月12日～4月12日にかけて行われ、1,930件の申請があった
 - UDRPに加えて紛争解決の仕組みが追加
 - 商標保護策が導入(TMCH, URS)
 - 複数申請者間で競合する文字列:オークションなど実施

Whois

- **次世代Whoisについて検討**
 - 様々な要件(プライバシー、国際化、法執行機関アクセス、不正利用対策、法規制対応 etc.)
- **検討状況**
 - 2010年9月～2012年5月: Whoisポリシーレビューチームにて検討
 - 2012年12月～2014年6月: gTLDディレクトリサービス専門家作業部会 (Expert Working Group: EWG)で検討
 - ICANN 51口サンゼルス会議(2014年10月)後: GNSOおよび理事会メンバーで検討グループを設立
- **IETFでの検討**
 - WEIRD WGでRDAPについて2012年～2015年初めにかけて検討(成果物: RFC7480～7485)

ccNSO

- **目的**

- ccTLDに関するグローバルポリシーを策定、およびccNSO内でコンセンサス醸成

- **メンバー**

- 各国ccTLD管理者＝スポンサー組織(例:.jpならJPRS)
- 157メンバー(11/11現在)

- **評議会(Council): 18名**

- 各地域3名 × 5地域 = 15名選出
- NomCom選出メンバー: 3名

- **ポリシー策定基本方針**

- 各ccTLDに関するポリシー策定は基本的に各国マター(=各国政府・コミュニティとccTLDレジストリに委ねる)

ASO

- **目的: 番号の運用、割り当て、および管理に関連するポリシー課題について理事会に勧告**
 - IANAからRIRに対する番号分配ポリシーを「グローバルポリシー」として策定。グローバルポリシーは5RIR全部のコンセンサスを経てICANN理事会が承認
- **評議会**
 - ASO Address Council (AC)
 - 5つのRIRが連合して代表組織Number Resource Organization (NRO) を設立(2003年)し、ASOの機能を提供
 - NRO Number Council (NC) がそのままASO ACとして機能
 - NRO-ICANN間の覚書([ICANN Address Supporting Organization \(ASO\) MoU](#))に基づく
 - メンバー: 各RIRから3名選出 × 5RIR = 15名
 - 2名は選挙により選出
 - 1名は各RIRが指名

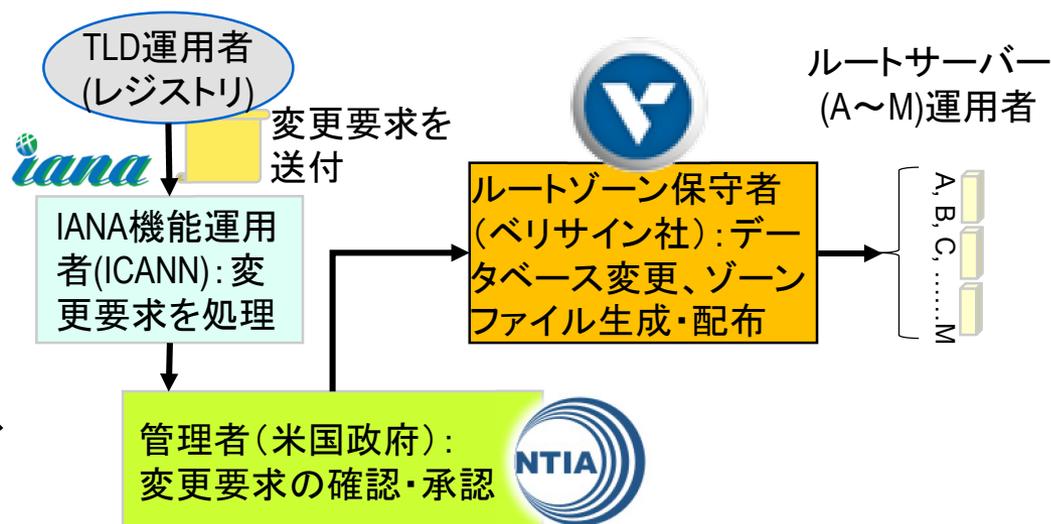
諮問委員会(AC)

インターネット資源の管理上重要な関係者
により構成

- 政府諮問委員会(GAC)
 - 各国政府の代表などからなる
 - 公共政策の観点から助言
- セキュリティと安定性に関する諮問委員会(SSAC)
 - 幅広い分野(レジストリ、レジストラ、RIR、ルートサーバ管理者など)からのメンバーからなる
 - ドメイン名、IPアドレスおよびAS番号分配に関するセキュリティと安定性に関して助言
- ルートサーバーシステム諮問委員会(RSSAC)
 - ルートサーバ運用組織、ルートゾーン管理関連組織、DNSのエキスパート等からなる
 - ドメインネームシステム(DNS)におけるルートサーバの運用に関して助言
- At-Large諮問委員会(ALAC)
 - 各地域別 At-Large 組織(RALO)およびNomCom指名メンバーよりなる
 - 個人インターネットユーザーの利益に関連するICANN の活動に関する助言
 - ALACだけは投票権を持つ理事会議席を1枠持つ(他のACは投票権のないリエゾン1名)

ルートサーバーの管理

- ルートサーバー: インターネットで利用されるDNSにおいて、ツリー構造の起点となるサーバー
 - ドメイン名とそれに関する情報(IPアドレス等)を持つ分散データベース
 - 各ルートサーバーの管理は管理者によってボランティアベースで行われているケースが未だ多い



- ルートゾーンの変更は米国政府(商務省電気通信情報局(NTIA))による承認が必要
- DNSルートゾーン管理に関するベリサインとの協力覚書に基づく

IANAについて



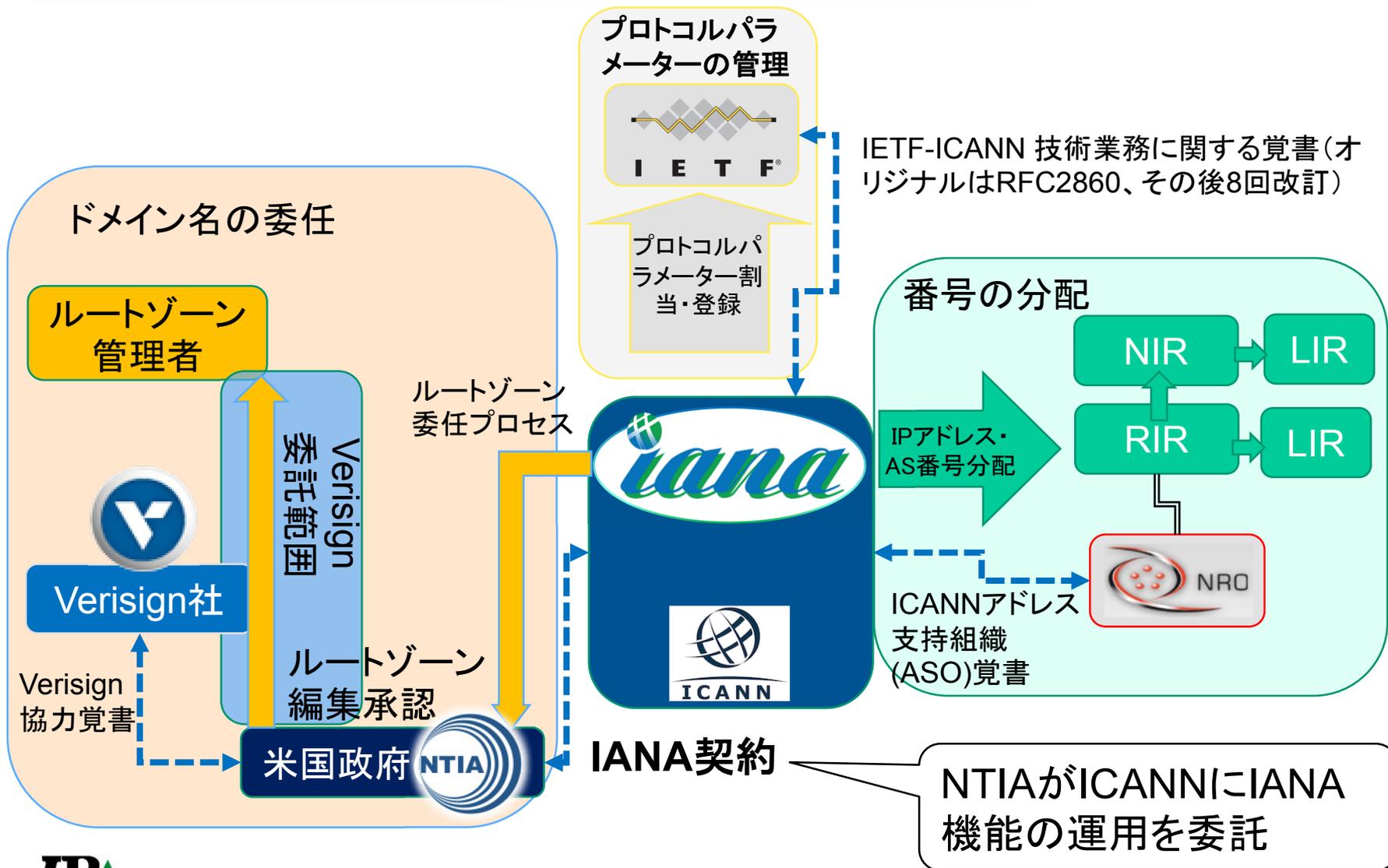
一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2015 Japan Network Information Center

IANAの起源

- **Jonathan (Jon) Postel氏が設立**
 - UCLAの大学院生→USC-ISI所属の研究者
 - (SRI-)NICが設立される(1972)
 - NSF～InterNIC～NSIがドメイン名の割り当てを開始(1993)
 - 米国エネルギー省Teranode Network Technologyとの契約で文書化(1997)
- **IETFに対するサービスとしてのIANA機能**
 - Vint Cerf氏がNIC/IANAの構成変更提案(1990)
 - 1992年にIAB設立、IABがプロトコル番号の割り当てに関して管理を行う組織として、IANAの名称を得る
 - 「IETFおよびIRTFに代わりIANAが実施すべき技術的作業を規定する覚書」をICANNと締結(2000)
- **ICANN設立(1998年)後はICANN内の一機能**
 - 2000年2月8日に米国政府とICANN間で「IANA機能遂行に関する契約」を締結

IANA機能と関係者



IANA契約

- **正式名称**
 - ICANNと米国政府の間の、IANA機能遂行に関する契約
- **経緯**
 - 締結:2000年2月、更新:2001年3月、2003年3月、2006年8月、2012年10月
 - 現行契約は2016年9月30日まで有効(15/9に1年間延長)
- **内容:IANA機能を委託**
 - DNSルートゾーン運営に関する(ドメイン名含む)管理機能
 - .arpa, .intセカンドレベル、およびIDN tablesの管理も含む
 - IPアドレス、AS番号の割り振り
 - 技術的プロトコルパラメータ割り当ての調整
 - その他、米国商務省の要請に基づく業務

IANAにおけるドメイン名の台帳

Root Zone Database: <http://www.iana.org/domains/root/db/>

Domain	Type	Sponsoring Organisation
.aaa	generic	American Automobile Association, Inc.
.aarp	generic	AARP
.abb	generic	ABB Ltd
.abbott	generic	Abbott Laboratories, Inc.
.abogado	generic	Top Level Domain Holdings Limited
.ac	country-code	Network Information Center (AC Domain Registry) c/o Cable and Wireless (Ascension Island)
.academy	generic	Half Oaks, LLC
.accenture	generic	Accenture plc
.accountant	generic	dot Accountant Limited
.accountants	generic	Knob Town, LLC
.aco	generic	ACO Severin Ahlmann GmbH & Co. KG
.active	generic	The Active Network, Inc
.actor	generic	United TLD Holdco Ltd.
.ad	country-code	Andorra Telecom
.ads	generic	Charleston Road Registry Inc.
.adult	generic	
.ae	country-code	
.aeg	generic	
.aero	sponsored	Societe Internationale de Telecommunications Aeronautique (SITA INC USA)

- IANAではTLDごとに各レジストリに管理権限を再委任
- 2015年11月5日時点でのTLDの総数は1122

IANAにおけるIPv4アドレスの台帳

<http://www.iana.org/assignments/ipv4-address-space/ipv4-address-space.xhtml>

Prefix	Designation	Date	WHOIS	RDAP	Status [1]	Note [2]
000/8	IANA - Local Identification	1981-09			RESERVED	[2]
001/8	APNIC	2010-01	whois.apnic.net	https://rdap.apnic.net/	ALLOCATED	
002/8	RIPE NCC	2009-09	whois.ripe.net	https://rdap.db.ripe.net/	ALLOCATED	
003/8	General Electric Company	1994-05	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
004/8	Level 3 Communications, Inc.	1992-12	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
005/8	RIPE NCC	2010-11	whois.ripe.net	https://rdap.db.ripe.net/	ALLOCATED	
006/8	Army Information Systems Center	1994-02	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
007/8	Administered by ARIN	1995-04	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
008/8	Level 3 Communications, Inc.	1992-12	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
009/8	IBM	1992-08	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
010/8	IANA - Private Use	1995-06			RESERVED	[3]
011/8	DoD Intel Information Systems	1993-05	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
012/8	AT&T Bell Laboratories	1995-06	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	
013/8	Administered by ARIN	1991-09	whois.arin.net	https://rdap.arin.net/registry http://rdap.arin.net/registry	LEGACY	

- IANAでは/8単位に区切って管理(全IPv4空間の1/256)
- 全IPv4アドレス空間(約43億ホスト)のうち、35×/8ブロックは特定用途のために予約し、分配しない(マルチキャスト、プライベートアドレス等)

IANAにおけるIPv6アドレスの台帳

IPv6 Prefix	Allocation	Reference	Notes
0000::/8	Reserved by IETF	[RFC4291]	[1] [2] [3] [4] [5]
0100::/8	Reserved by IETF	[RFC4291]	0100::/64 reserved for Discard-Only Address Block [RFC6666]. Complete registration details are found in [IANA registry iana-ipv6-special-registry].
0200::/7	Reserved by IETF	[RFC4048]	Deprecated as of December 2004 [RFC4048]. Formerly an OSI NSAP-mapped prefix set [RFC4548].
0400::/6	Reserved by IETF	[RFC4291]	
0800::/5	Reserved by IETF	[RFC4291]	
1000::/4	Reserved by IETF	[RFC4291]	
2000::/3	Global Unicast	[RFC4291]	The IPv6 Unicast space encompasses the entire IPv6 address range with the exception of ff00::/8, per [RFC4291]. IANA unicast address assignments are currently limited to the IPv6 unicast address range of 2000::/3. IANA assignments from this block are registered in [IANA registry ipv6-unicast-address-assignments]. [6] [7] [8] [9] [10] [11] [12] [13] [14] [15]
4000::/3	Reserved by IETF	[RFC4291]	
6000::/3	Reserved by IETF	[RFC4291]	
8000::/3	Reserved by IETF	[RFC4291]	
a000::/3	Reserved by IETF	[RFC4291]	
c000::/3	Reserved by IETF	[RFC4291]	
e000::/4	Reserved by IETF	[RFC4291]	
f000::/5	Reserved by IETF	[RFC4291]	
f800::/6	Reserved by IETF	[RFC4291]	
fc00::/7	Unique Local Unicast	[RFC4193]	For complete registration details, see [IANA registry iana-ipv6-special-registry].
fe00::/9	Reserved by	[RFC4291]	

グローバルユニキャスト

- インターネット接続用に指定されたグローバルユニキャストアドレス空間は/3 (全IPv6アドレス空間の1/8)
- これを/12単位(全空間の1/4096)でIANAで管理

<http://www.iana.org/assignments/ipv6-address-space/ipv6-address-space.xml>

IANAにおけるプロトコルパラメーターの台帳

<http://www.iana.org/protocols> <http://www.iana.org/time-zones>

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y

Protocol/Registry

Defining Document/Comments

Protocol Numbers

Assigned Internet Protocol Numbers

[RFC 5237](#), [RFC 7045](#)

IESG Approval or Standards Action

Protocol to Access:

[PAWS Error Code](#)

[PAWS Parameters](#)

[PAWS Ruleset ID](#)

Proxy Certificate

[Proxy Certificate](#)

Decimal	Keyword	Protocol	IPv6 Extension Header	Reference
0	HOPOPT	IPv6 Hop-by-Hop Option	Y	[RFC2460]
1	ICMP	Internet Control Message		[RFC792]
2	IGMP	Internet Group Management		[RFC1112]
3	GGP	Gateway-to-Gateway		[RFC823]
4	IPv4	IPv4 encapsulation		[RFC2003]
5	ST	Stream		[RFC1190] [RFC1819]
6	TCP	Transmission Control		[RFC793]
7	CBT	CBT		[Tony Ballardie]
8	EGP	Exterior Gateway		[RFC888] [David Mills]

- 例：プロトコルナンバー、DNSリソースレコードタイプ、IDNAパラメーター、HTTPステータスコード、BGPメッセージタイプ
- 2011年よりタイムゾーンデータベースの管理を開始

IANA監督権限の移管 ICANNの説明責任強化



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2015 Japan Network Information Center

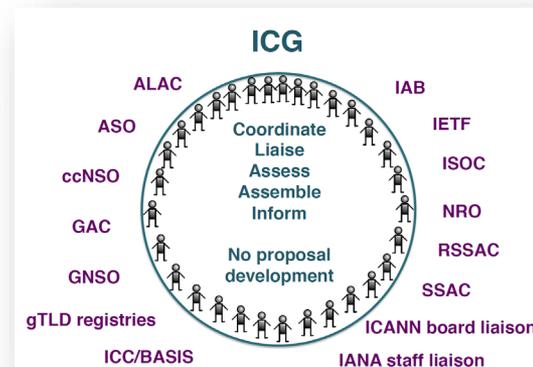
IANA機能監督権限の移管

- **NTIAがIANA機能の監督権限を移管する意向を表明(2014年3月14日)**
 - グローバルなマルチステークホルダーコミュニティに移管後体制の計画立案を依頼
 - IANA監督権限移管調整グループ(ICG)が設立され、移管提案作成に向けて調整実施
 - 13コミュニティを代表する30名により構成
 - **背景: IANA機能という重要な資源への監督権限が米国1ヶ国に委ねられていることへの懸念**
 - どの国にも属さないインターネットのあり方との整合性への疑問
 - ルートゾーン更新時における承認の役割への懸念
- 象徴的な懸念

IANA監督権限移管の状況

• 2014年

- NTIAがIANA機能の監督権限を移管する意向を発表(3月14日)
 - グローバルなマルチステークホルダーコミュニティに移管後体制の計画立案を依頼
- ICG (IANA監督権限移管調整グループ) 組成(7月)
- ICGが提案募集を発表(9月8日)
 - 3資源コミュニティ(ドメイン名、番号資源、プロトコルパラメータ)に各資源に関する提案を依頼



• 2015年

- ICGの提案締め切り(1月15日)
 - プロトコルパラメータ・番号資源は期限内に提出
 - ドメイン名に関する提案提出(2015年6月)
- ICGが3資源の統合提案を発表(7月31日)
- NTIAが、IANA契約の更新を1年延長
 - 2015年9月→2016年9月(提案の施行完了含む)

移管提案プロセス

三資源の運用コミュニティ:
各IANA機能ごとの提案を策定

IETFコミュニティ:
IANAPLAN WG

プロト
コル

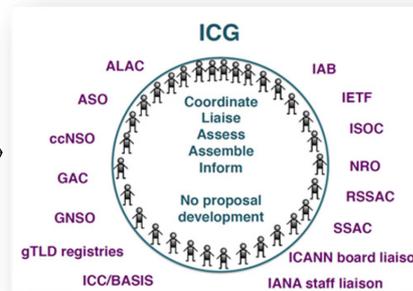
ドメイン名コミュニティ:
CWG-Stewardship

ドメイン
名

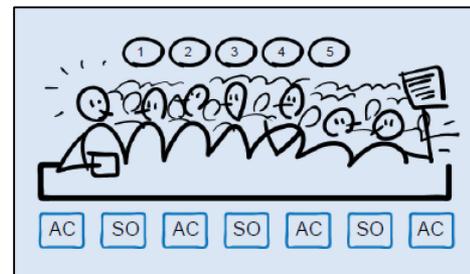
RIRコミュニティ:
Consolidated RIR IANA
Stewardship Proposal
(CRISP) Team

番号
資源

ICG: 方針決定・
進捗管理・提案
の統合

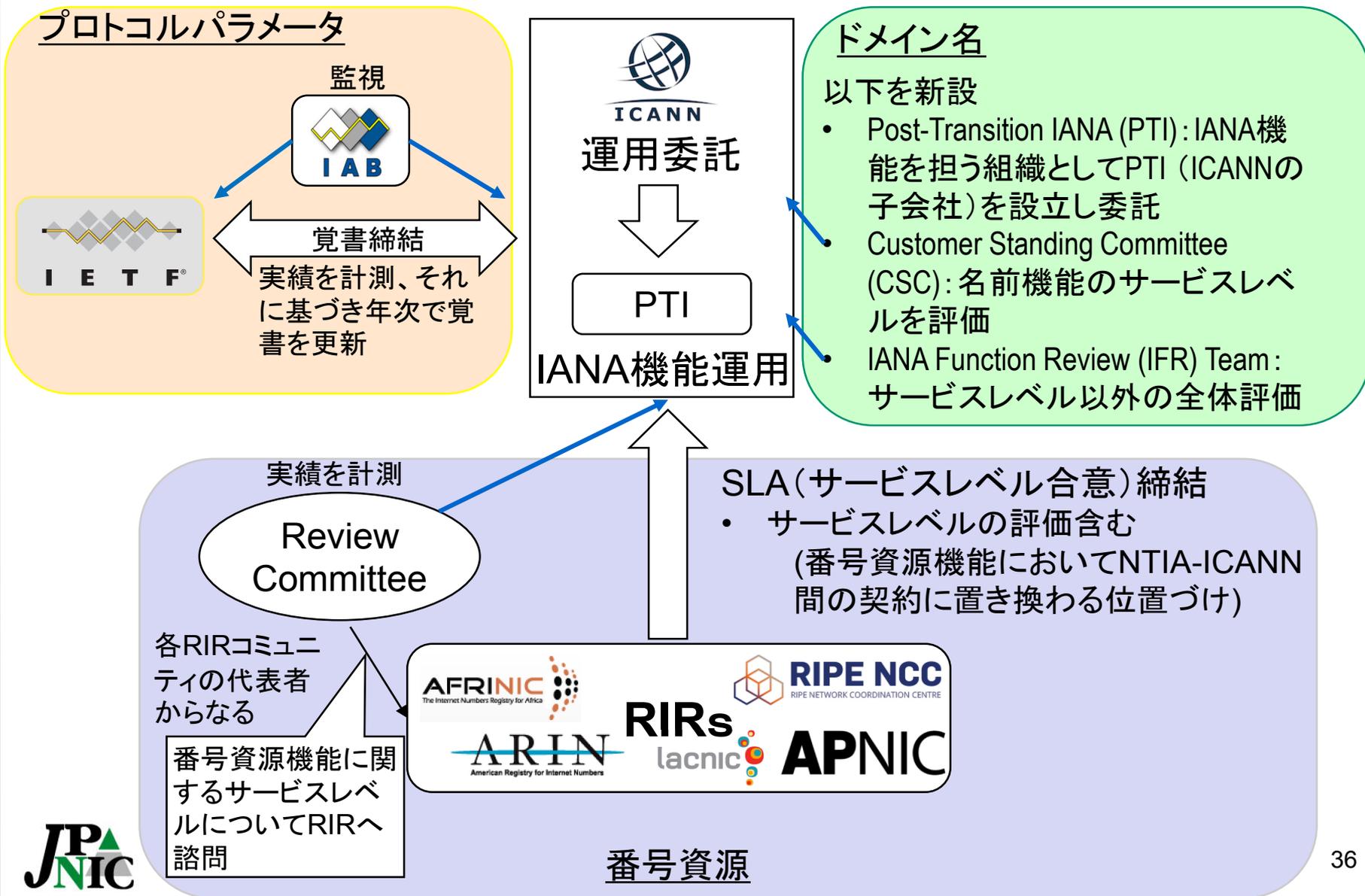


理事会
承認



CCWG-Accountability
(WS1のみ)

IANA監督権限移管提案の全体像



ICANN説明責任の強化

• 検討開始の理由

- 米国政府の監督がなくなることでICANNの説明責任が弱まるのではないかとの強い懸念
- NTIAが移管の条件としてICANNの説明責任向上に向けた提案も併せて提出するよう要請
 - NTIAによる監督権限移管後もICANNの説明責任が十分に担保されることを示す
 - ストレステスト(移管に伴う想定事態への耐性分析)を含むこと
 - 対象:金融危機/支払不能、運営上の義務を果たせなくなること、法・立法上の事態、説明責任を果たせなくなること

• 検討グループ設立

- Cross Community Working Group On Enhancing ICANN Accountability (CCWG-Accountability)

• 課題の仕分け

- Work Stream 1 (WS1): 移管までに要対策の課題
- Work Stream 2 (WS2): 移管以降の長期検討課題

ICANN説明責任提案内容の概要

1. AoCの定款への反映

2. 基本的定款の導入

- ICANN基本的価値観・意思決定の核となるものを反映
- 理事会決定への審議・再考プロセス見直し

3. 理事会へのコミュニティの権限強化

- 既存の支援組織/諮問委員会の仕組みを基にこれらに会員または代表者の権限を付与
- 権限強化対象
 - 理事会全体の解任
 - 個々の理事の解任
 - 定款変更の承認/棄却
 - 予算および戦略/運用計画の棄却

さらに詳しい内容を知りたい方はこちら

- **ICANN**

- <https://www.icann.org/>

- **IANA**

- <https://www.iana.org/>

- **ICANN情報**

- <https://www.nic.ad.jp/ja/icann/index.html>

- **ICANN会議・ICANN報告会**

- <https://www.nic.ad.jp/ja/icann/meeting/index.html>

- **ドメイン名を中心としたインターネットポリシーレポート**

- <https://www.nic.ad.jp/ja/in-policy/index.html>